

# 福井から再稼働ノ

「高浜原発再稼働反対、大飯原発再稼働反対」。東京電力福島第1原発事故の発生（2011年3月11日）から、もうすぐ4年となる1日、「3・11さよなら原発福井県集会2015inふくい」メモリアルアクション原発のない新しい福井へ」（実行委員会主催）が福井市で開かれ、600人が参加しました。

手拍子で会場が一つになっ  
た子どもとおとなの合唱に続  
き、中島哲演・実行委共同代  
表が、20万人分を超えた「も  
う動かすな原発！福井県民署

名」の、いっそうの取り組み  
を呼びかけ、詩を朗読して  
「1基たりとも動かさない決  
意を固めたい」とのべまし  
た。

リレートークが行われ、高  
浜、おおい両町などの県内や  
滋賀、京都両府県から12人が  
発言。高浜町の東山幸弘さん  
（68）は「高浜や、おおいの町  
民は決して黙して再稼働を容  
認しているのではない」と訴  
え、坂井市の女性は「子や孫、  
会うことのない遠い子孫に誇  
れる地球を」とのべました。  
金元幸枝知事候補（日本共

## 20万を超えた署名 さらに広く 県集会

産党県書記長）が「世界一原  
発集中の福井から、原発再稼  
働にきっぱり反対する声を、  
知事選を通じて大きく訴えて  
いきたい」と決意を表明し、  
拍手に包まれました。

裁判闘争の報告や福島から  
の訴えが行われるとともに、  
立石雅昭・新潟大学名誉教授  
と長沢啓行・大阪府立大学名  
誉教授が講演し、たびたび見  
直される基準地震動が設備の  
老朽化を考慮していない実態  
を指摘すると同時に、地表に  
断層がなくても強い地震が起  
こりうると強調しました。

参加者らは、再稼働を許さ  
ない「圧倒的多数の署名を」  
と訴える集会アピールを採択  
し、市内をパレードしました。